

令和6年2月1日

保護者 様

富岡市立吉田小学校
校長 清水 美鈴

第2回学校評価（保護者）アンケート結果について

晩冬の候、保護者の皆様にはますますご健勝にてお過ごしのことと思います。

さて、12月に実施しました、第2回学校評価アンケートの結果がまとまりましたのでお知らせします。この結果をふまえて、職員の話し合いをもち、以下のような取組をして改善することになりました。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、表中の「達成率」は、全ての回答数のうち、A（よくできている）と、B（だいたいできている）の占める割合です。

| | 保護者アンケート内容 | 達成率 (%) | |
|---|--|---------|----|
| | | 前回 | 今回 |
| ① | お子さんは、あいさつや返事を自分からしていますか。 | 83 | 87 |
| ② | お子さんは、やさしい言葉を使って、友達となかよくしていますか。 | 90 | 92 |
| ③ | お子さんは、友達と力を合わせて、人のために役立つことをしていますか。 | 94 | 91 |
| ④ | お子さんは、ねばり強く、自分から学習していますか。 | 75 | 76 |
| ⑤ | お子さんは、課題解決にむけて、自分の考えを説明していますか。 | 77 | 71 |
| ⑥ | お子さんは、学んだことを生活に生かしていますか。 | 90 | 84 |
| ⑦ | お子さんは、休み時間は外で遊んでいますか。 | 78 | 90 |
| ⑧ | お子さんは、失敗や困難に負けず、最後まで取り組んでいますか。 | 82 | 79 |
| ⑨ | お子さんは、自ら考え、判断し、安全に生活していますか。 | 92 | 94 |
| ⑩ | 学校では、子供たちが英語に親しめるよう、取り組んでいますか。 | 91 | 86 |
| ⑪ | 学校では、子供の学習意欲を引き出すような授業の工夫をしていますか。 | 94 | 91 |
| ⑫ | 学校では、ICTも活用しながら、できる喜び・わかる喜びを実感できる授業を行っていますか。 | 94 | 92 |
| ⑬ | 学校では、心に寄り添う相談や一人一人を大切にした学級づくりに努めていますか。 | 95 | 95 |
| ⑭ | 学校では、豊かな心を育む教育に努めていますか。 | 95 | 97 |

| | | | |
|---|---|----|----|
| ⑮ | 学校では、子供たちが自ら成長できるような場を設けたり指導に努めたりしていますか。 | 91 | 96 |
| ⑯ | 学校では、子供たちが生き生きと教育活動に取り組んでいますか。 | 96 | 98 |
| ⑰ | 学校では、運動に親しむ機会の充実に取り組んでいますか。 | 95 | 95 |
| ⑱ | 学校は、避難訓練、交通安全、感染症対策など、学年に応じた安全教育に取り組んでいますか。 | 97 | 97 |
| ⑲ | 学校では、学校・学年だよりや配付物、学校ホームページを通して積極的な情報発信を行っていますか。 | 94 | 94 |
| ⑳ | 学校では、地域の方々やSSVとの連携・協力を大切にし、吉田地区の自然や歴史、文化やよさを生かした教育に取り組んでいますか。 | 97 | 98 |
| ㉑ | 学校では、ICT機器を活用することで、子供たちの学習や家庭との連携に生かしていますか。 | 92 | 90 |
| ㉒ | 学校では、校舎や校庭、通学路等の安全管理に取り組んでいると思いますか | 87 | 94 |

※達成率太字は、90%を下回っている項目。以下、改善案を記します。

1. 改善案について

①「お子さんは、あいさつや返事を自分からしていますか。」について

職員が率先して子供たちへ挨拶を実践することを、前回からの改善策として取り組んでいます。地域の皆さんからは、「気持ちのよい挨拶をしてくれ、嬉しいです」という声と、「元気のないお子さんもいます」との声もあります。気持ちのよい挨拶は、自分も相手も元気にしてくれることを日常的に伝えていきたいと思います。引き続き、ご家庭でもあいさつの大切さをお子さんにお話してください。

④「お子さんは、ねばり強く、自分から学習していますか。」について

子供たちが粘り強く進んで学習できるよう、実態に合わせた適切な課題を設定する工夫をしていきます。そして、活動への見通しをもたせながら、ねばり強く学習している児童の姿を共有しながら、達成感が感じられるよう学習活動を行っていきます。また、タブレットを効果的に活用する生活経験や体験活動を生かすなどして、学習への興味や関心が高まるよう支援していきます。

⑤「お子さんは、課題解決にむけて、自分の考えを説明していますか。」について

児童が抵抗なく説明できるような個別の支援や、学級の認め合う雰囲気作りといった土台を大切にしていきます。そして、子供たちが説明をしたいと思ったり、説明する必要性のある場面を意図的に設定したりしていきます。また、筋道を立てて説明できる思考ツールなどを活用して、説明をする機会を増やして支援していきます。

⑧「お子さんは、失敗や困難に負けず、最後まで取り組んでいますか。」について

子供たちには、「失敗をしたくない」という意識があります。引き続き失敗も認めていける学級の雰囲気づくりに努めながら、各教科・活動において、子供たちが小さな成功体験を積み重ね自信をつけていけるよう支援していきます。

⑩「学校では、子供たちが英語に親しめるよう、取り組んでいますか。」について

学校では、給食時の英語の放送、お昼休みの FunGLISH タイム、学活等で英語を使ったゲームを取り入れる活動、また、学年の実態に応じて、朝の会で英語を取り入れたコーナーを作るなど（曜日や天気、予定等）、児童が日常的に英語に親しめるような環境作りに継続して取り組んでいます。

2. 記述にて寄せられたご意見への回答

学校評価にご協力いただきましてありがとうございます。保護者の皆様から、たくさんの貴重なご意見、そして励ましのお言葉をいただきました。我々職員の励みになり、改めて感謝申し上げます。記述における主に学校全体に関わる内容についてお答えいたします。今後ともよろしく願いいたします。（複数のご質問をまとめたり、途中を省略したりさせていただいたところがありますがご了承下さい）

Q1. ほかの学校では学校行事が年々少なくなっているという話を聞きます。吉田小も減るのではないかと心配です。再開し始めた今が多すぎず少なすぎず、丁度良いと感じています。

A1. コロナ禍で行事が縮小され、今年度になって再開されるようになってきました。その際、学校の教育課程に沿って、必要な行事の精選がなされているのも事実です。子供たちに、豊かな人間性と確かな学力を伸ばしていくために、今後とも学校での学びの充実を図ってまいります。そして、学校行事の充実に努めていきたいと思えます。貴重なご意見をありがとうございます。

Q2. 体育でボールを使った運動を増やした方がいいと思います。

A2. 率直なご意見ありがとうございます。学校の授業は、国で定めた学習指導要領に基づいて行われています。体育の授業でボールを使った運動は、各学年で年間約20時間前後位置付けています。ゲーム的要素を取り入れて、「ゴール型」「ネット型」「ベースボール型」の内容で学年に応じて計画します。ボール運動系の特質を十分生かした活動が、より充実できるよう授業改善を行っていきます。

Q3. 授業が早めに終わった時など、タブレットを使っても良い時間に、学習には関係ないゲームや音楽や動画を観ている人がいると子供が言っていました。

A3. ご指摘をいただきありがとうございます。タブレットは学校でも家庭でも、学習の道具として使用することを目的として、各個人に貸与しています。「タブレットの

使用の仕方」を徹底し、間違っただけを使っているときには、指導をいたします。

Q4. 他校の動きで良いところは取り入れるという意味で、子供たちの下校時にボランティアを含めもっと安全に帰れるように工夫をしてもらえたらと思います。親の管理だけではどうにもならない部分もあります。低学年は特に危険を察知する能力が低いです。学校の校門を出たら後は知らないと言う状況ではなく、子供がもっと安全に安心して帰れる様に地域もそうですが、家族及び祖父母などの沢山の目に留めてもらい安全に見守る体制があったらいいと強く思います

A4. 子供たちの下校時における安全確保につきまして、貴重なご意見をありがとうございます。吉田小では、子供を見守る取組として「更生保護女性会」の皆様、「交通安全協会吉田地区」の皆様、「地域作り協議会安心安全部会見守り隊」の皆様、そしてPTAの皆様と、ご協力をいただいております。心より感謝申し上げます。学校では、危険回避のための安全指導を日常的に行っております。子供たちの登下校時の姿に地域の方から心配な声をいただいたり、登校班の班長や高学年の子供たちから危険なことを聞いたりした時には、1つ1つ指導をくり返しております。今後とも、引き続き地域の皆様にご協力をお願いするとともに、学校でも子供たちの安全な登下校のための指導を続けてまいります。